

国際ロータリー第2660地区  
2005～2006 年度

# 地区委員会

## 活動計画書

合同地区委員会開催

2005年7月2日(土) 大阪YMCA会館

ガバナー 神崎 茂



# 目 次

地区委員会の皆さんと共に	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
国際大会記念事業委員会	4
クラブ奉仕部門	5
クラブ奉仕委員会	5
拡大・増強委員会	7
情報・広報委員会	8
職業奉仕部門	10
職業奉仕委員会	10
社会奉仕部門	12
社会奉仕委員会	12
青少年奉仕部門	14
新世代合同委員長会議	14
青少年活動委員会	15
ローターアクト委員会	17
インターアクト委員会	19
国際奉仕部門	21
国際奉仕委員会	21
世界社会奉仕委員会	22
青少年交換委員会	23
ロータリー財団部門	24
ロータリー財団委員会	24
財団情報・増進委員会	25
財団奨学金・学友委員会	26
研究グループ交換委員会	28
財団人道的補助金委員会	30
米山奨学部門	32
米山奨学委員会	32
地区大会	34
ロータリーの友	35
財務委員会	36
地区組織図	40





## 地区委員会の皆さんと共に

ガバナー 神崎 茂

大成功であった大阪国際大会と創立100周年を無事に終え、いよいよロータリー第2世紀を始める年度に地区委員会を担当して頂く皆さんは、すでに委員会活動のベテランであり、過去の蓄積された知識と経験を生かして存分に活躍されることが期待されております。又、本年度に初めて委員を引き受けて頂いた皆さんも夫々のクラブで立派なロータリアンとして出身クラブから送り出されてきた方々であります。私と一緒にその重責を共に荷って頂く様、お願いする次第です。

先輩ガバナーが叫んで来られた「クラブが主役」を旗印に地区86クラブの活動を側面からお手伝いをする仕事を引き受けて頂く様、お願いします。

地区がこれから行う予定の様々な行事や会合の目的は、唯一当地区のロータリアンに奉仕の理念をより良く理解し体得して頂く為の研修の機会を提供することだと考えます。

地区予算執行に際しては極力節減の努力をされる様、工夫し知恵をしばって下さい。

各委員会は本年度の行事予定をまとめて早めに各クラブ宛連絡されます様、お願いします。

本年度R IのテーマはService above self 超我の奉仕であります。又、R I会長賞プログラムに関連する委員会は、その計画と実施についてクラブからの問い合わせに対して対応出来る様に、又、G補佐の皆さんは、その担当クラブ毎に適切なアドバイスが出来る様、ご準備下さい。

2005年5月20日付「理想的ロータリークラブの条件案」が第2期クラブ強化推進委員会より発表されましたが、現在のクラブが置かれている状況に基づいて、その問題点と解決についての示唆に富んだ内容となっております。地区委員会の活動を考えて頂く場合にも大いに役立てて頂けると考えます。

G補佐会議月1回、I.M.幹事会は2ヶ月に1回開催が予定されています。これらの会合にも委員会の情報を伝達される機会として利用される様、お考え下さい。

当地区全てのロータリアンがロータリアンとしての自信と希望を感ずることが出来る一年になりますようにご尽力下さることをお願いします。

## 地区ガバナー指名委員会

委員長	宮田宏章	(大阪北)
委員	柏木尚	(豊中)
同	寺田和之	(大阪)
同	井上暎夫	(千里)
同	若林紀男	(大阪東)

2004年度規定審議会におけるR I細則13.010項の変更に伴い、2008～2009年度ガバナー・ノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出すべく努めます。

## 意義ある業績賞委員会

委員長 宮田宏章(大阪北)  
委員 井上暎夫(千里)  
同 若林紀男(大阪東)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R Iから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、R Iに選定を証明する手続きをとることになっていますが、本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りであります。(申請手続については2004年版手続要覧P 69参照)

### \* 選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること、又、推薦できるのは1地区につき1クラブのみであることにご留意下さい。既に「意義ある業績賞」を受賞したことがあるプロジェクトは、重ねて業績の認証を受けることはできません。「意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうか確認して下さい。

- 地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- 殆どのまたは全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身を持って奉仕に参加するプロジェクトであること。それは、クラブの規模と支援資源に比例するものであること。
- 地域社会においてロータリーのイメージを強化するものであること。
- 他のロータリークラブが模倣できるものであること。
- 賞が贈られるロータリー年度において、進行中または完了されたものであること。
- 単一ロータリークラブによって実施されたものであること。



## 国際大会記念事業委員会

特別顧問	近藤雅臣	(千里)
委員長	若林紀男	(大阪東)
委員	大谷透	(大阪西南)
同	常楽寺喜雄	(東大阪東)
同	早嶋茂	(大阪)
同	長澤利治	(茨木)

第95回R I 国際大会は、2004年5月23日～26日の期間、大阪の地で開催され、大きな感動と国際交流の実を挙げた素晴らしい大会となりました。

当委員会は、その成功を記念して国際大会記念事業「ロータリープロムナード（ロータリーの散歩道）」と名付けた植樹事業を企画し遂行致しております。

植樹場所は、大会メイン会場になりました。大会国際会議場・リーガロイヤルホテル前の堂島川護岸に設置される遊歩道とし、季節になると花を咲かせる並木道となり、ロータリアンはもとより、市民の憩いの場となることを期待致しております。

事業の現況は、現在、中之島高速鉄道(株)〈第三セクター〉による中之島新線延伸工事（京阪天満橋駅より、仮称玉江橋駅まで）が行われており、その完成後、遊歩道が設置となり、植樹までは少々ロングランの記念事業であります。

当委員会の本年度活動は、市当局並びに中之島高速鉄道(株)と緊密なる連携のもとに事業を進めて行く計画であります。

# クラブ奉仕部門

## クラブ奉仕委員会

委員長	井上家昌	(東大阪東)
副委員長	川上善司	(大阪平野)
委員	中島俊一朗	(大阪南)
同	中野憲城	(大阪城東)
同	杉本全司	(吹田江坂)
同	中山賢	(池田)
同	織田宗輔	(東大阪)
同	石田秀	(大阪西南)
同	金森市造	(くずは)

### ○基本方針

本年度、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーR I 会長のテーマは、ロータリー第1標語である、「超我の奉仕」を取り上げられました。これはロータリーの第2の百年の第1年度にあたり、過去からの成功の基盤を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えること必要であるとの考えからこのテーマが提案されました。

一方、R I 理事会は、ロータリーが安定・成長・成功のため、奉仕の第2世紀において、クラブ運営を容易にすることを目的として、新規の管理構成、特にクラブ委員会構成をクラブの中心に主眼を置いた『クラブ・リーダーシップ・プラン』が発表されました。このプランの施行をクラブ主体に行うことにより、地元社会、世界向上をさせる力を備えた効果的なクラブを作り出そうとするプランであります。

これを受けて今年度神崎ガバナーは地区方針を、ロータリー101年目を迎えて

1. クラブ運営、情報活動を強化し、クラブ奉仕の充実に軸足を置いたクラブ作り
2. ロータリーの綱領、職業奉仕を原点に戻って考える
3. 地区運営は簡素、簡潔、財政緊縮化

を示されました。これにより当委員会は下記の方針で臨みます。

### ○活動計画

1. クラブの会長・幹事・クラブ奉仕委員長とも密接に協力し、各I.M.組幹事会を通



じて、他のクラブの成功例、アイデア推進事項等の情報提供し、助言させていただきます。

2. 地区委員会、特にクラブ奉仕部門の他の2委員会とも連携を取りつつ活動してまいります。又他地区のクラブ奉仕委員会とも活発に情報交換いたします。
3. ガバナー補佐と地区委員会では、ガバナー補佐はクラブの問題解決の「ゼネラリスト」で、地区委員会は「エキスパート」となれるよう委員会内部においてもよく勉強し、コミュニケーションを良くして全員参加で活動してまいりたいと考えます。

具体的には

- ① I M組毎に当委員会1名が担当し、ガバナー補佐と協力する。(別紙担当表参照) この点「クラブ・リーダーシップ・プラン」の発足により、クラブの強化のため、一層重要になると考えられます。
  - ②地区全体のクラブ奉仕関係重要項目別に委員それぞれが担当し、各クラブからの相談、情報提供等、タイムリーに支援します。
  - ③各月のガバナー補佐会議に出来る限り出席の上、情報交換を行いたいと考えます。
4. 「手続要覧2004年」発刊により、改正事項の周知徹底や又各クラブでの定款・細則等の整備について支援します。委員会内、各月定例会議を開催の上、研究会や周知方法の検討を行いたいと考えます。
  5. 卓話銀行については会員出席率向上、クラブ例会の活性化のためにも更に利用の推奨をはかりたいと考えます。

I.M.組毎分担当表 (敬称略)

組	ガバナー補佐名	クラブ数	クラブ奉仕委員会担当者
第1組	長嶋 貞孝 (池田くれは)	8	中山 賢 (池 田)
第2組	高津 喜夫 (高 槻 西)	12	杉本 全司 (吹田江坂)
第3組	末田 正真 (門 真)	11	金本 市造 (く ず は)
第4組	森川 勝尾 (八 尾)	9	織田 宗輔 (東 大 阪)
第5組	播磨 章一 (大 阪 堂 島)	13	中島俊一郎 (大 阪 南)
第6組	檜崎 正博 (大 阪 東)	12	中野 憲城 (大 阪 城 東)
第7組	福本 桂三 (大 阪 う つ ぼ)	11	石田 秀 (大 阪 西 南)
第8組	畑田 豊 (大 阪 城 南)	10	川上 善司 (大 阪 平 野)



## 拡大・増強委員会

会員委員会・辞務

(西 京 大) 橋 一 徹 中 員 員 委  
 (北 京 大) 堀 一 郎 北 員 員 委  
 (東 京 大) 斎 藤 早 良 員 員 委  
 (東 京 大) 目 黒 千 鶴 同  
 (南 京 大) 橋 本 昌 夫 同  
 (西 京 大) 橋 本 昌 夫 同  
 (西 京 大) 橋 本 昌 夫 同

委員長 住 吉 正 敏 (大阪 城東)  
 副委員長 菅 本 憲市郎 (新 大 阪)  
 委 員 境 高 彦 (大阪 城南)  
 同 上 西 宏 侑 (大阪 城東)  
 同 山 田 美美江 (大阪 ねざき)

### ○基本方針

ロータリーは100年の歴史を経て新たなる決意をもって奉仕の2世紀目を開始する事になり、今年度会長は、会長賞のプログラムに参加しその必須会員目標として会員1名かそれ以上の純増を達成する事と決められました。本年度はそれに基づき行動を行いたいと思います。

### ○活動計画

- ・ 会員増強セミナーの開催
- ・ I.M.組毎の幹事会に積極的に参加
- ・ 第3-4 (A) ゾーン会議への参加、他地区との意見交換
- ・ クラブ奉仕部門3委員会との連携

委員長	中 筋 一 朗 (大 阪 西)
副委員長	荒 井 敬一郎 (大 阪 北)
委 員	早 嶋 茂 (大 阪)
同	溝 手 敦 信 (大 阪 東)
同	木 村 芳 樹 (大 阪 南)
同	加 登 孝 (大 阪 大 淀)
同	西 村 真一郎 (大 阪 西)

### ○基本方針

2005～06年度国際ロータリーのステンハマー会長は、RCが誕生して2度目の百年を歩みはじめるにあたって会長賞プログラムを設定されました。それは、会員増強目標から、各奉仕部門へ及ぶものですが、特にロータリー情報・広報に関しては、公共イメージと題する一項目を設けて効果的な広報活動を推奨しておられ、広報に関することではRCのパブリシティに関して、

- ①少なくとも2回ロータリークラブの行事をマスコミに大々的に報道してもらう。
- ②公共奉仕アナウンスメントを新聞に掲載したり、公共奉仕放送をラジオやテレビで放送してもらう。

とかかけておられます。そこで地区委員会としては、RI会長の方針を体してまず対外的な情報の発信の重要性を共通の認識とし、特にマスコミ関係者との交流を密接にすることに努めたいと思います。

当地区においては、すでに2004～05年度において、創立100年を記念として、日刊紙に大型の広告を提供し、ロータリークラブのパブリシティの向上に寄与したところがありますが、公共広告等については、予算上の制約もあり、今後の継続については、なお検討をつづけたいと考えます。

○活動計画

1. 情報・広報部門の委員長会議を開催し、RCの広報活動について共通の認識を模索し、具体的な広報活動の実施についての検討を行う。
2. ロータリークラブ（地区、RC、等）としての効果的な広報活動のあり方、方法等について、研究、検討を重ねる。
3. 各RCの広報・雑誌委員長への啓蒙活動を通じ、各RCの活性化に寄与する。
4. RCの公共奉仕アナウンスメントの新聞掲載、ラジオやテレビ放送等についていかにするか、論議したい。

# 職業奉仕部門

## 職業奉仕委員会

委員長	岩本洋子	(大阪そねざき)
副委員長	近藤嘉一	(大阪ユニバーサルシティ)
委員	北川勝治	(大阪東)
同	辰野元彦	(大阪東)
同	宮後浩	(大阪住之江)
同	早石誠	(大阪南)
同	村木茂	(新大阪)
同	畑田耕一	(豊中)
同	嘉納秀一	(大阪)
同	國田欣吾	(くずは)

### 1. はじめに

昨年度、ロータリアンの職業奉仕を2つに分けて、

- ・内なる職業奉仕＝自己研鑽
- ・他者への職業奉仕＝職業による社会への貢献

を提案しました。今年度もこの方法を踏襲しようと考えています。

### 2. 他者への職業奉仕＝職業による社会への貢献

まず、他者への職業奉仕では、各ロータリークラブに小学校・中学校へのロータリアンの出前授業の実践をお願いしております。ロータリアンが自らの職業を小学生・中学生に話をするのは、小学生・中学生にとってロータリアンの職業は彼らの未来そのものだからです。前年度の地区大会で、当委員会の畑田耕一委員（大阪大学名誉教授）らによる出前授業の分科会は大きな反響を呼びました。今年度も各クラブに小学校・中学校への出前授業をお願いし、ロータリアンの職業による社会への貢献を実践していきたいと思っています。

### 3. 内なる職業奉仕＝自己研鑽

もうひとつの課題は、内なる職業奉仕＝自己研鑽です。この情報提供のために、「職業奉仕・いいお話し集（仮題）」という冊子を作る計画をしています。2660地区には「職業奉仕の小史」という冊子があります。これはロータリーにおける職業奉



仕の歴史本です。今回は歴史本ではなくて、ロータリー100年のストックの中から、心温まる職業奉仕の話を集めたいと思います。世界企業を創った創業者達の言葉を引用しても良いと思います。この冊子を朗読するだけで、卓話の時間やフォーラムで、職業奉仕のセンスが養われるような冊子にしたいと思います。

会員委員会

#### 4. まとめ

##### ①小学校・中学校への出前授業

職業情報の宝庫であるロータリアンが、小学校・中学校に出かけて行って、授業を担当する、実践・他者への職業奉仕を推進します。

##### ②職業奉仕の冊子

ロータリー100年のストックの中から、職業奉仕の話を集めます。

##### ③地区協議会と職業奉仕委員長会議の実施

4月の地区協議会と7月～8月の職業奉仕委員長会議では、①②の実践の提案をします。

地道に、継続的に、目に見える形で、その形が残るように、今年度も職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

以上

会員委員会

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

会員委員会

職業奉仕委員会の活動を進めていきます。

# 社会奉仕部門

## 社会奉仕委員会

委員長	樋上幸夫	(摂津)
副委員長	若宮邦弘	(大阪天王寺)
同	浦川光雄	(箕面中央)
委員	江藤光哉	(大阪)
同	由上時善	(吹田西)
同	小林君夫	(大阪大手前)
同	江上清夫	(豊中千里)
同	宮田明	(くずは)

昨年のR I 100周年で各クラブにおいては、様々なイベントを企画され終了する事ができました。

社会奉仕を通して、地域と一体になり、よりこまかな活動を進めてまいりたいと思います。充実な運営をするため各クラブの理解と協力をお願い致します。

### <社会奉仕グループ>

最近若年者の薬物乱用が問題視されており大阪府薬務課と協力し、ダメ・ゼッタイ運動を重要テーマとしてとりくんでいきたいと思ひます。

- ・ダメ・ゼッタイ運動の展開（薬物乱用防止運動）  
麻薬覚せい剤など薬物使用の低年齢化
- ・献血運動の充実、展開  
企業献血、クラブ献血の拡大
- ・ユネスコ、寺小屋運動に協力  
書き損じハガキ、1円募金等

### <環境保全グループ>

日常生活と地球環境との関わりについて関心を高めることが大切であると考えさまざまな運動に積極的に参画し、意識の高揚と活動の普及に努めてまいります。交通問題が引き起こす様々な公害を国として、また企業として取り組み地球をクリーンにしようという運動が世界規模で実施されております。



環境保全グループはそのような時代背景も踏まえて活動してまいります。

- ・「豊かな環境づくり大阪府民会議」の重点行動目標に強調した運動の推進
- ・おおさか環境賞対象クラブの推薦
- ・世界環境デー 6月の環境月間の運動への参画
- ・なにわエコ会議に参画
- ・環境保全セミナー開催

### <交通問題グループ>

交通戦争の中で私達一人一人が自覚を持ち、交通法規の遵守につとめ交通災害を減らし、地域社会にどうすれば貢献できるか会員の皆さま方と一緒に考えていきたいと思っております。

- ・ 本年もノーマイカーデーコンテストの実施

[皆様方のご理解とご指導ご鞭撻によりまして、社会奉仕活動に努めてまいりたいと思っております。]

## 青少年奉仕部門

### 新世代合同委員長会議

議 長 井 上 暎 夫 (千 里)  
泉 博 朗 (大 阪 住 吉)  
高 橋 敏 朗 (守 口)  
田 中 啓 之 (大 東)  
土 井 晶 三 (高 槻 西)  
溝 畑 正 信 (東 大 阪 東)  
加 藤 隆 (八 尾)  
山 本 和 雄 (大 阪 な に わ)

当地区に本会議が設置されてから8年目を迎えます。

R I は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトをクラブと地区に奨励しております。

そして、R I 構成プログラムとしてインターアクト、ローターアクト、RYLA及び青少年交換を挙げております。

当地区はこれに財団学友、G S E、米山奨学を加えこれらを担当する7委員会の委員長をメンバーに委員長会議を設置し、縦割り委員会の弊害を補完し、お互いに情報を交換し、共有する事によって新世代のプログラムに託されている役割がより有効的に果たせるように努めております。

今では地区内のインターアクト・クラブの行事にローターアクターが協力したり、RYLAにローターアクト、財団学友、米山奨学生、青少年交換学生の参加はごく普通のこととなってきました。

また、当地区独自のプログラムであるニコニコキャンプにも大きな役割を果たしてきております。

設置された当初の役割が果たせるように7人の委員長の理解と協力により、日本でのRYLA発祥の地である2660地区の新世代プログラム成功に向け、連絡機関としての役割を果たしていきたいと思っております。

## 青少年活動委員会

委員長	泉 博 朗 (大阪住吉)
副委員長	田 中 信 明 (大阪鶴見)
委員	前 田 葉 子 (大阪リバーサイド)
同	片 岡 亥 一 郎 (大阪堂島)
同	北 山 孝 和 (大阪中央)
同	澤 田 順 司 (高 槻 西)
同	柳 川 義 行 (吹 田)
同	金 本 恒 二 郎 (大阪天王寺)
同	宮 次 重 郎 (大阪本町)
同	西 上 博 幸 (吹田江坂)
同	津 本 清 次 (大阪淀川)
同	杉 本 昌 煥 (大阪北梅田)
同	谷 間 庸 子 (大阪そねざき)
同	水 崎 勝 (寝 屋 川)
同	三 原 敏 彰 (大 阪 東)

今年度は初級ライラ (RYLA) 2回、上級ライラ1回、ニコニコキャンプを1回実施します。

### 1. ライラ (Rotary Youth Leadership Awards : 青少年指導者養成プログラム) の実施

- (1) 初級ライラ ホストクラブ : 大阪本町ロータリークラブ  
 日時 2005年9月23日(金)～25日(日)  
 場所 大阪市立信太山青少年野外活動センター
- (2) 上級ライラ ホストクラブ : 大阪本町ロータリークラブ  
 日時 2005年9月23日(金)～25日(日)  
 場所 大阪市立信太山青少年野外活動センター
- プレキャンプ 日時 2005年8月  
 場所 大阪府立青少年センター (森之宮)
- 本キャンプ 初級ライラと同時開催
- (3) 初級ライラ ホストクラブ : 吹田江坂ロータリークラブ  
 日時 2006年5月3日(水)～5日(金)  
 場所 大阪府立青少年海洋センター (淡輪)



## 2. ニコニコキャンプの実施

小学生4、5、6年生を対象に2泊3日のキャンプを実施します。

児童たちがキャンプの共同生活を通して友情や心の豊かさを養い、自然にふれ、団結と協力の大切さと奉仕の精神を体験しながら学んでもらうことを目的として開催いたします。

実際のキャンプ活動の展開には、上級ライラ修了生、ローターアクトのメンバーがリーダーとなってユースリーダーとしての研修を積む実習の場としての役割も担っております。

### (1) 少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ : 大阪東ロータリークラブ

日時 2005年8月5日(金)～7日(日)

場所 大阪府立青少年海洋センター(淡輪)

## 3. 各クラブの青少年奉仕活動情報の収集と提供

地区委員会はライラ、ニコニコキャンプが中心とした活動ですが、各クラブの具体的な活動状況を収集し、情報として提供します。

## 4. 新世代合同委員長会議を通じて青少年奉仕の活動状況の収集と提供

## 5. 来年度は特に上級ライラに力を注ぎ、多くの修了生を育成したいと考えております。

又、ライラ受講生にローターアクトへの入会をアピールしロータリーによる長期の指導者養成プログラムへの参加を促します。

## ローターアクト委員会

委員長	高橋敏朗(守口)
副委員長	渡部富士雄(大阪住吉)
同	竹村ルミ子(茨木東)
委員	山内康俊(大阪西)
同	石田肇(東大阪東)
同	湯木尚治(大阪)
同	疋田陽造(吹田)
同	辻本一義(東大阪)
同	坂田哲男(大阪御堂筋)
同	田中英雄(高槻)
同	中北清(大阪南)
同	津本清次(大阪淀川)
同	井本恵章(大阪北)

### ○基本方針

本年度は、前年度、前々年度と違いRIからの大きなテーマは無いようですしかしガバナーが熱く言っておられました「超私の奉仕の遂行とこれからの百年を考える」に当たりこの1年皆様と共に頑張っていこうと思います。またその先のことを踏まえながら計画目標について考えていきます。そしてガバナーからのテーマでありますローターアクト会長賞の表彰に繋がる活動方針を各ローターアクトクラブに考えてもらいます。このことは当地区のローターアクトの活動を原点から見つめ直し、全世界のローターアクトの模範となりますような、各クラブの基本的な活動を充実させることに繋がれば良いと考えます。

ローターアクトクラブの会員は、30歳になると卒業という規定があり、常に新しい会員の補充をしなければなりません、会員数もピーク時から比べるとロータリー同様減少傾向にあります。今年も毎年ローターアクトクラブ正副委員長会議に提唱されていないクラブの青少年委員長に参加して頂きローターアクトのことを少しでも理解して頂きローターアクトの会員増に繋がれば良いと思っています。そして各ローターアクトクラブに提唱ロータリークラブとの連携した共同奉仕活動を軸に、交流を図りローターアクトの活動を認識していただき、会員増強に組織だった協力体制を整備していかなければならないと思っています。そのためには、地区と各クラブとの連絡・協力関係を密にし、特にメンバーの少ないクラブの増強を計るアドバイスをを行いながら、個々のクラブ活動を支援して行きます。

青少年委員会の泉委員長から大学のローターアクトクラブの提案がありました、この件も進めようと思っています。もう一つ、ローターアクトのOB、OGでのロータリークラブの創立を考えて実行に移したいとも思っています。

以上

### ○活動計画


1. 活動の基盤は個々のクラブであるという認識を各クラブに徹底し、クラブ活動の活



性を計る。今期はガバナーが推奨しておられるローターアクト会長賞を取り組んだ活動も計る

2. ローターアクトクラブの永遠の課題である会員増強を提唱ロータリークラブと共に計る。  
特に、会員数が15名以下のクラブには積極的に会員増強をお願いする。
3. ロータリークラブとの共同奉仕活動を推進して、共同プロジェクトを組むことにより、ローターアクトの活動をロータリアンに理解を深めてもらう。  
又、未提唱ロータリークラブにもPRを積極的に行い、ローターアクトの活動を理解してもらう。
4. ローターアクト必携、および2660地区ローターアクトガイドブックにより、ローターアクトの基礎知識の勉強する機会を多く作る。
5. ローターアクトのOB、OG会を充実して、現役ローターアクトとの交流を深め、適切なアドバイスをいただき、活動の参考にしていく。  
そして、OB、OG会を通じてロータリークラブの結成準備をしたい。
6. 海外研修を通じ現地ローターアクトとの交流と共同奉仕活動を通じてローターアクトの国際感覚の養成を計る。
7. また青少年奉仕部門の委員会とも連絡を密にして、情報交換や相互協力を計りローターアクト委員会がリーダー的な役割を果たしていく。

以上

R.I.  
  
 ROTARACT DISTRICT 2660

国際ロータリー第2660地区ローターアクト  
 2005～2006年度 行事予定案

年	月	日	曜日	行事名	ホスト
05	7	9	土	第1回RAC正副委員長会議	地区RA委員
		24	日	第1回地区献血	大阪北RAC
		24	日	第1回地区連絡協議会	大阪梅田RAC
	8	5～7	金～日	少年少女ニコニコキャンプ	大阪東RC
			土	第1回海外研修オリエンテーション	RA地区役員
	9	11	日	全国統一アクトの日	吹田RAC
			土	第2回海外研修オリエンテーション	RA地区役員
		23～25	金～日	秋のライラ	大阪本町RC
	10	8～10	土～月	海外研修	RA地区役員
	11		日	2640・2660地区交流会	2660地区RA
		20	日	インターアクト年次大会	大阪相愛中学・高校
		9～10	金～土	RC地区大会	大阪西RC
06	2	4	土	第2回RAC正副委員長会議	地区RA委員
		18～19	土～日	第18回全国ローターアクト研修会	2640地区RA
		26	日	第2回地区献血	寝屋川RAC
		26	日	第2回地区連絡協議会	大阪住吉RAC
	3	19	日	世界RAC DAY	大阪東RAC
	4	16	日	新旧理事役員研修会	守口RAC
	5	3～5	水～金	春のライラ	吹田江坂RC
		21	日	地区年次大会	東大阪RAC
6	11	日	リーダーシップフォーラム・新人研修会		



## インターアクト委員会

委員長 田 中 啓 之 (大 東)  
副委員長 塩 野 秀 作 (大 阪)  
委 員 和 田 健 (大阪 阪南)  
同 松 林 寛 (大 阪 南)  
同 高 山 修 治 (大阪 南西)  
同 大 戸 道 彦 (大阪 住吉)  
同 石 黒 嘉 弘 (八 尾)

### ○活動方針

1. 本地区インターアクトクラブは、すべて学校を基盤としています。このため提唱各クラブが各学校の実情に沿い、学校長や顧問の先生方と連携・協調して、インターアクトの活動を推進することを支援します。
2. 小子化、教育環境の変化等がインターアクトクラブの活動にも影響を及ぼしています。こうした状況のなかでクラブの活動が、学校当局はもとより、より多くのロータリアンの支持が得られるように努めます。また、インターアクトクラブの創設に取り組んでいただけるよう、情報提供などの支援をします。
3. 下記に掲げる活動計画（地区行事）の実施に際して、提唱ロータリークラブ・担当インターアクトクラブの意見を尊重し、個性溢れるものとなるよう支援します。

### ○活動計画

#### 1) 地区年次大会（主幹事校）

提唱：大阪ロータリークラブ

担当：相愛中学高等学校インターアクトクラブ

期日：2005年11月20日（日）

会場：相愛中学・高等学校

2) 海外研修 (副幹事校)

提 唱：八尾ロータリークラブ

担 当：金光八尾中学高等学校インターアクトクラブ

期 間：2005年 8月 6日 (土)～10日 (水) (予定)

研修先：R I 第3310地区・シンガポール (予定)

3) 地区インターアクト活動報告書 (S C R U M) No.31の発行

提唱：大阪南西ロータリークラブ

担当：四天王寺羽曳丘インターアクトクラブ

期日：2006年 3月 (予定)

4) 地区新入生歓迎会

提唱：大阪ロータリークラブ

担当：相愛中学高等学校インターアクトクラブ

期日：2006年 6月 4日 (日)

5) 新クラブの設立に向けて

地区内インターアクトが、諸般の事情により減少していることに鑑み、関係各位のお力添えをいただき、新クラブの設立をサポートします。

6) 会議等

ア. リーダーシップフォーラム 1回

イ. 顧問会議 2回

ウ. 地区委員会 2回

エ. 正副委員長会議 2回

オ. 近隣地区合同委員会 随時

カ. 地区委員、正副委員長、顧問合同懇談会 2回

## 国際奉仕部門

### 国際奉仕委員会

委員長	盛田三五(大阪東)
副委員長	島井宏子(大阪北梅田)
委員	四宮孝郎(大阪西南)
同	更家悠介(大阪)
同	横山順治郎(大阪南)
同	森田豊成(大阪東)
同	山口和雄(茨木)

国際奉仕委員会は世界社会奉仕(W.C.S)と青少年交換(Y.E.P)の事業が独立した委員会構成となって以来、実質的な委員会活動は消滅したと言っても過言ではない。

委員会として現在行っている1)国際大会への参加呼びかけ、2)Sister Club、Twin Clubの推奨、3)W.C.S、Y.E.P、両委員会への協力と言う間接的活動の枠を越えて2委員会の会合にはオブザーバー出席をし、積極的な協力関係を構築し将来のあるべき国際奉仕委員会活動を模索したい。



## 世界社会奉仕委員会

委員長	植村 宏一郎 (大阪平野)
副委員長	宮里 唯子 (茨木西)
委員	芦邊 康徳 (大阪心斎橋)
同	豊谷 久仁子 (吹田)
同	家村 武志 (吹田西)
同	青山 快玄 (大阪北梅田)
同	三村 恵造 (大阪西北)
同	岩田 宙造 (大阪南)

### ○活動方針

貧困と飢餓に苦しむ人々に対し、物資援助、自立支援、教育等の奉仕活動を行い、国際理解と友好親善を深める。

今年度のR I 強調テーマの水、保険、識字率向上プロジェクトをすべてのクラブに奨励する。

86クラブが独自の世界社会奉仕活動を実施して頂けるよう、また、奉仕の機会を数多く提供してくれるロータリーの素晴らしさを推奨する。

### ○活動計画

I.M. 8 組単位に地区委員が担当し、各クラブに世界社会奉仕活動の必要性と重要性を理解して頂き積極的に独自の活動を行って頂くよう努める。

財団法人道的補助金委員会と定例会議を行い密に連絡を取りD.D.FやM.Gを使用した幅広い活動が出来る事を各クラブに啓蒙する。

独自でW.C.S活動が困難なクラブに対し、数クラブで行えるプロジェクトや地区が調査発掘した支援プログラムを紹介し実施して頂くようすすめる。

年 2 回W.C.S委員長会議を行います。

- ・第 1 回 2005年 7 月16日 (土) 於：薬業年金会館
- ・第 2 回 2006年 3 月18日 (土) 於：薬業年金会館

## 青少年交換委員会

委員長	土井 晶三 (高槻西)
副委員長	植田 豊實 (箕面中央)
委員	近藤 真道 (高槻西)
同	徳岡 昭七郎 (大阪天満橋)
同	岡田 俊作 (大阪本町)
同	武市 智寿 (大阪鶴見)
同	三木 優 (大阪イブニング)
同	西野 博子 (大阪イブニング)
同	泉 寛治 (八尾中央)
同	西川 知行 (高槻西)
同	葛尾 都志樹 (大阪ちゃやまち)

80数年の歴史を持つ青少年交換プログラムは、一番多感な年代である高校生を対象としたものであります。青少年達が無事に一年間、派遣国で生活出来るよう周到な準備が要求されるプログラムです。今年度は、従来にも増して綿密な計画を持って学生たちのフォローを行いたいと思っております。そして、無事に一年間を経て将来立派な国際人としての感覚を持った大人に成長する一助になればと思っております。

この目的の為に委員会11名が一丸となって、このプログラムを実行して行きたいと思っております。各スポンサー・ホストクラブの皆様方のご協力とご理解・ご支援を心よりお願い申し上げます。

### ○基本方針・条件

- (1) 受入12名、派遣学生を11名とする。
- (2) 受入ロータリークラブへの補助金は60万円／1人とする。
- (3) 受入学生、年2回の宿泊旅行(スキー、広島)の代金として実費相当\$800を持参してもらう。(\$300は緊急資金・\$500は旅行費用負担)
- (4) 派遣学生からは、プログラム参加費として1人当たり10万円を徴収する。
- (5) 基本的に、行事参加のロータリアン・ROTEXからは応分の負担をお願いする。

## ロータリー財団部門

### ロータリー財団委員会

委員長	横山守雄	(大阪中央)
副委員長	原真一	(大阪北)
委員	井川孝三	(八尾)
同	福家宏	(八尾中央)
同	溝畑正信	(東大阪東)
同	加藤隆	(八尾)

地区ロータリー財団委員会は財団部門4委員会委員長で構成されております。当委員会の役割はその4委員会と連携を密にして、ロータリー財団の各種活動プログラムが地区内各クラブの社会奉仕・国際奉仕活動に出来るだけ活用されますよう、各クラブの活動を側面から支援して行くことです。それと同時に財団の活動プログラムのサポートに必要な各クラブ・各ロータリアンのロータリー財団への寄付の増進を図ることです。

ロータリー財団の活動プログラムには伝統的な国際親善奨学生やGSEチームの受入や派遣の教育プログラムがあります。また近年は各クラブの社会奉仕・国際奉仕プロジェクトに対する各種の補助金プログラムがあります。各クラブの皆様がこのような財団の活動プログラムをそれぞれのクラブ活動に導入されますと、クラブに活力が漲り会員増強や退会防止にも繋がります。

現在の問題点は、近年、地区内の会員数が漸減し、ロータリー財団への寄附金が大幅に減少していることです。それによって当然のことながら地区へ返還されてくるD.D.Fも年々減少しております。その結果、親善奨学生の派遣数を減らしたり、各クラブから要請が多い地区補助金を減額せざるを得ない状況になりつつあります。各クラブの奉仕活動を支援します財団の活動プログラムは各会員の寄付があって始めて可能になります。この点を各会員によくご理解いただけるように努めて参ります。



## 財団情報・増進委員会

会員委員会・金庫委員会

(東 大 東) 第 一 区 会 員 委 員 会  
(東 大 東) 第 二 区 会 員 委 員 会  
(東 大 東) 第 三 区 会 員 委 員 会  
(南 大 東) 第 一 区 会 員 委 員 会  
(南 大 東) 第 二 区 会 員 委 員 会  
(南 大 東) 第 三 区 会 員 委 員 会  
(北 大 東) 第 一 区 会 員 委 員 会  
(北 大 東) 第 二 区 会 員 委 員 会

委員長 井川孝三(八尾)  
副委員長 岸本健之亮(大阪北梅田)  
委員 山本公平(大阪北)  
同 津和章雅(大阪城南)  
同 吉岡康雄(大阪西北)  
同 北村讓(大阪中之島)

財団の4委員会との連携を密にしながら、地区各クラブの財団委員会を通じてロータリー財団情報を提供し、財団活動に対する理解と浸透に努力する。又、寄付の増進については地区目標を達成すべき為、より一層の増進を図る。

### ◎計画

- ・情報・増進委員会の開催(年3回)
- ・地区ロータリー財団セミナー(8月末、各クラブ会長、財団委員長の出席)
- ・ロータリー財団委員長会議の開催(10月末)
- ・ロータリー財団月間、I.M.(8ブロック)にての情報提供の機会を活用する。

### ◎地区募金目標

- ・年次寄付目標額 各クラブの目標額を集約した額
- ・年次寄付 一人当たり 各クラブにて設定する
- ・ベネファクター 各クラブ 1名以上
- ・大口寄付 1名

寄付は今日の財団プログラムを支えている年次寄付と明日の財団プログラムを安定させるものとしての恒久基金の2つに大別されます。恒久基金の充実を図る為、ベネファクター・大口寄付の推進が重要な年となっています。

### 委員会開催予定日

- 7月27日(水) 15:00～(ガバナー事務所) 第1回財団情報・増進委員会
- 10月5日(水) 15:00～(ガバナー事務所) 第2回財団情報・増進委員会
- 2月8日(水) 15:00～(ガバナー事務所) 第3回財団情報・増進委員会

### 地区財団セミナー

8月27日(土)

### クラブロータリー財団委員長会議

10月22日(土) 10:00～12:00

## 財団奨学金・学友委員会

委員長	溝 畑 正 信 (東大阪東)
副委員長	丹 羽 一 郎 (大 阪 東)
委 員	坂 井 孝 彦 (東 大 阪)
同	梅 崎 道 夫 (大阪城南)
同	榊 原 春 枝 (大阪柏原)
同	柏 本 義 臣 (吹 田 西)
同	河 野 眞一郎 (大 阪 北)

### 1. ロータリー財団国際親善奨学生の選考とオリエンテーション

#### \* 2007～08年度ロータリー財団国際親善奨学生の募集及び選抜試験

地区財団寄付金の減少、また地区財団活動資金 (D.D.F) が50%となったため、選ばれる奨学生数の減少が著しい。

このような中で、いかに優秀で質の高い、ロータリー財団国際親善奨学生として相応しい候補を選ぶかがこの委員会の重要な役割と考え、取り組んでいきたい。

#### \* 本年選抜された2006～07年度奨学生に対しては、3回にわたるオリエンテーションを開催し、顧問ロータリアンと共に国際親善大使としての役割とロータリー財団の意義について認識していただく。

また、先輩である財団学友と共にあらゆる機会をとらえて、ロータリー財団国際親善奨学生の自覚を持ってもらう。

帰国後はP S C (財団学友) 会員として、ロータリーによる留学によって得られたところのものを社会に還元してもらうよう指導する。

### 2. ロータリー平和奨学生の選出

2005～07年度の第4期世界平和奨学生に当2660地区から寺西悦子さんが選ばれた。

2007～09年度も優秀な人を推薦し合格させたい。

### 3. 来日文化研修生及び国際親善奨学生の受け入れ

日本語研修を目的とする学生が来日すれば、世話クラブと受け入れ学校のY W C A と協力して所期の目的を達成したい。

### 4. P S C (財団学友) の発展と充実を計るため以下の活動を行う。

#### \* 奨学生候補と先輩であるP S C会員との交流の機会を多く作り、留学に際しての情報交換の場とする。

また、メーリングリストを通じてより具体的なノウハウを提供する。留学マニュアルを作成する。

#### \* P S Cだより、地区のホームページ、ロータリー財団学友名簿などでP S Cの活動を知ってもらう。



\*ロータリー財団月間や世界理解月間にはP S C会員の卓話を奨励し、各クラブにもそれをP Rする。

\*P S C会員の就職先や住所が当地区とは限らない。どの地区にあっても活躍できるように他地区の学友組織との連携を計りたい。

5. 地区協議会、地区大会、ロータリー財団セミナー、クラブロータリー財団委員長会議など地区行事を通じ、当委員会の活動を広く会員に理解していただき、ひいては財団活動に協力していただくよう啓蒙につとめる。

### 国際ロータリー第2660地区2005～06年度

#### 財団奨学金・学友委員会行事予定表

#### 2005年

7月2日(土)		合同地区委員会
		第1回財団奨学金・学友委員会
9月3日(土)	11:00～12:00	第2回財団奨学金・学友委員会
	13:30～16:30	第1回国際親善奨学生オリエンテーション P S C総会
	17:00～19:00	P S C主催奨学生歓迎会
12月9日(金)～12月10日(土)		地区大会
12月10日(土)	地区大会終了後	第3回財団奨学金・学友委員会 P S C例会 P S C主催帰国奨学生報告会

#### 2006年

3月4日(土)	11:00～12:00	第4回財団奨学金・学友委員会
	13:30～16:30	第2回国際親善奨学生オリエンテーション P S C例会
	17:00～19:00	P S C主催懇親会
4月16日(日)	午後	2007～08年度奨学生第1次試験(小論文) 第5回財団奨学金・学友委員会
5月16日(火)	17:00～19:00	国際親善奨学生第1次選考会
6月11日(日)	9:00～17:00	2007～08年度奨学生第2次試験(面接)
6月11日(日)～6月14日(水)		国際大会
6月24日(土)	11:00～12:00	第6回財団奨学金・学友委員会
	13:30～16:30	第3回国際親善奨学生オリエンテーション P S C例会
	17:00～19:00	P S C主催奨学生歓送会

## 研究グループ交換委員会

委員長	加藤	隆	(八尾)
副委員長	吉田	弘	(枚方)
委員	野村	正勝	(箕面中央)
同	岩城	邦廣	(摂津)
同	田中	潤治	(大阪西北)
同	後藤	二郎	(大阪北)
同	武田	太郎	(大阪南)
同	松井	隆雄	(大阪天王寺)
同	岩田	宙造	(大阪南)

### 1. 基本方針

国際ロータリーの究極の目的である世界平和を実現する為に、世界の国々との国際交流と友好親善を深め、大きな輪で世界平和を実現する為にロータリー財団のプログラムとして1965年に開始して以来、職業研修という異質のプログラム内容と国際交流の実際の素晴らしさに対する評価が上昇の一步を辿り、近年では財団奨学生に並ぶ重要プログラムとして認識されています。

地区GSE委員会としては国際交流と友好親善を最大限に実現する為に地区内全クラブに参加を呼びかけ、受入プログラムを通じての感動体験を国際交流、財団増進(財団寄付)への意欲に直結出来るよう常に地区内クラブへの啓蒙と指導を行っていきたいと思います。

### 2. 交換組合せ

国際ロータリー第2390地区スウェーデン南西部(コペンハーゲン空港より海峡大橋で対岸に渡った地区)との交換で、昨年はスウェーデンチームを受入しましたが、本年度は団長を含め5名のチームを5週間にわたって派遣します。

### 3. 派遣期間

下記日程どおり 5週間

2006年4月30日(日) 関西国際空港出発

2006年6月3日(土) コペンハーゲン空港発

6月4日(日) 関西国際空港着

### 4. チーム構成

団長 1名(ロータリアン)

団員 4名(25歳から40歳までの職業又は専門職を有する青年男女)

### 5. 募集・選考について

#### ①派遣団員の資格

派遣団員の選考に関しては、志望動機と共に英語能力、特に英会話表現力を重視する。

職業の選考にあたって特にテーマを決めず、工業、技術、商業、文化と公務に従



事している中で優秀な25歳から40歳までの団員構成を行う。

## ②募集

募集は、地区内全ロータリークラブに行き、多くの優秀な若者の推薦をして頂き、厳正な選考を行い、立派なチームを構成する。なお、募集にあたっては、過去同様マスコミ（産経新聞等）にも協力頂き地区内の公募も行う予定です。

## ③選考

ガバナー、担当パストガバナー、委員会（ガバナー・ノミネーを含む）で選考を行い、団員の語学力はもちろんのこと、職業研修での目的意識を明確に持ち、チーム構成になるため、その一員として協力、行動出来る協調性を持ちあわせ、GSEの目的である国際交流に対する理解と自覚を持つ団員を選考します。

併せてプログラム終了後も可能な限りロータリーの活動、GSEのプログラムに参加、協力する意思を確認します。

多くのロータリアンの奉仕を支えとして実現できるプログラムなので、プログラム終了後も友好交流やロータリー活動への理解、協力を大切にしていきたいと考えています。

## ④派遣チーム決定及び日程

団長、団員募集は2005年8月頃に実施（地区内全クラブへの募集とマスコミによる地区内公募）

申しこみ締め切りは9月中旬予定

団長、団員候補の面接は10月初旬とし、中旬にはチームメンバー決定

団長は地区内全クラブに募集し、出来る限り団員面接の前に決定し、団員の面接に立ち会えるようにしたい。複数名の候補があれば、地区委員会で面接を行い決定する。団長はガバナーが契約当事者であるので、ガバナーの代理として交換先に団員を引率し、国際平和を究極の目標として国際交流と友好を深める事を最大の目的として実施するプログラムであるのでロータリーを十分理解し、共通語として認識されている英語の日常会話をこなす方を選考します。

チーム構成が決定すれば、早い機会にオリエンテーションを実施(2005年11月頃)派遣の為の諸手続き：

- ・ロータリー財団指定の旅行社（東日観光株式会社）2006年1月頃
- ・スウェーデンへの団員資料準備と連絡（団員個人プロフィール、職業研修希望事項、写真等）
- ・財団本部への手続き（申請書、健康診断書、保険契約書、意思表示作文等）
- ・日程の確定、チケット手配、入手及びスウェーデンへの正式連絡（4月中）
- ・壮行会（5月中旬）
- ・帰国歓迎会（6月中旬）
- ・団長、団員報告書提出（帰国後1ヶ月以内）
- ・ロータリー財団への報告書提出（チーム報告書を基に地区で作成、提出）
- ・派遣、受入を併せた報告書作成及び地区内全クラブ及び関係先への配布（次年度出来るだけ早い時期に）及び地区GSEサイトへの掲載

## 6. 次年度交換の件

委員の一人であるガバナー・エレクトと委員会で十分検討をし、早期に次期交換先を決定する。

## 財団法人道的補助金委員会

委員長	福家宏	(八尾中央)
副委員長	白方誠彌	(大阪淀川)
委員	横井憲二	(八尾)
同	岩津陽介	(大阪御堂筋)
同	辻川功一	(大阪中央)
同	寺本美津子	(大阪そねざき)

### ○活動計画

1. 2005～06年度、2660地区に配分されたD.D.Fの内、人道的分野で利用できる金額は\$123,000で、内訳は下記の通りである。地区W.C.S委員会および地区社会奉仕委員会と密接に連絡を取り、各クラブの社会奉仕活動、世界社会奉仕活動に有効かつ公平に、役立つように支援する。

地区補助金 (DSG)	\$ 63,000
マッチング・グラント (MG)	\$ 60,000
合計	\$ 123,000

2. 人道的分野の補助金は、地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの3つである。

#### (1) 地区補助金 (District Simplified Grants)

クラブが地域の社会奉仕プロジェクトに活用することのできる補助金で、2005-06年度の総額は、地区活動資金 (D.D.F) の20%相当の\$63,000となった。

地区補助金は、国内の社会奉仕活動への補助金であるが、ロータリークラブが存在しない国の世界社会奉仕活動にも使用できる。

クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案して所定の地区補助金申請書を地区に提出し、地区の審査を経たうえ補助金の授与を受ける。クラブはプロジェクト終了後2ヶ月以内に所定の最終報告書を提出することが義務付けられている。

地区補助金は出来るだけ多くのクラブに活用頂けるようにするため、2005-06年度は1件あたりの補助金をクラブの資金に対して同額補助とし、上限を\$1,500とする。



(2) 個人向け補助金 (Individual Grants : I G) 財源はWF

奉仕プロジェクトを立案、実施するロータリアンの旅行費用を援助する補助金。

滞在期間に基づき補助金は\$1,200～\$5,000を受けられる。補助金の支出で認められるのは、エコノミークラスの航空運賃と最小限の生活費。申請書には、プロジェクト実施地のロータリークラブ会長の招請状が必要である。補助金を受けるためには、出発予定日の4ヶ月前に申請書を提出し、出発予定日の8週間前に承認を得ておくことが必要のため、時間に余裕を持った申請作業が必要である。

(3) マッチング・グラント (Matching Grants : M.G) 財源はWF (D.D.Fを付加できる)

- 小口マッチング・グラント \$2,000以下
- 大口マッチング・グラント \$2,001～\$25,000
- 大口マッチング・グラント \$25,001～\$150,000 (競争制)

2カ国のロータリークラブまたは地区が行うW.C.Sプロジェクトに対して援助される補助金で、資金の現金部分には50%、D.D.F部分には100%がWFより授与される。

大口のマッチング・グラント (\$2,001～\$25,000) に付加するD.D.F (提唱者側の負担分) は、できるだけ多くの方々が利用できるように、1件当たり\$3,000程度とする。

小口のマッチング・グラント (\$2,000以下) に付加するD.D.F (提唱者側の負担分) は、できるだけ多くの方々が利用できるように、1件当たり\$1,000程度とする。

3. 委員会開催予定日

8月11日 (木)、9月8日 (木)、11月10日 (木)、1月19日 (木)、3月9日 (木)、5月11日 (木)

【8月11日 (木) 1月19日 (木) はW.C.Sと合同】

4. 地区補助金審査委員会開催予定日

8月11日 (木)、9月8日 (木)、11月10日 (木)、1月19日 (木)、3月9日 (木)、5月11日 (木)

# 米 山 奨 学 部 門

## 米山奨学委員会

委員長	山 本 和 雄	(大阪なにわ)
副委員長	北 川 哲	(大阪南)
委員	河 口 貴 賦	(大阪西)
同	永 江 溥	(大阪天満橋)
同	岡 田 義 昭	(大阪淀川)
同	奥 谷 英 夫	(千里)
同	池 田 文 治	(大東中央)
同	朝 比 須 峯 子	(大阪東淀)

### ○活動方針

- ①奨学寄附金の確保充実を計る。
- ②奨学生の選考。
- ③奨学生に対する充実した指導や助言を行い、奨学生と世話クラブ及びカウンセラー、そして留学生該当大学との円滑なコミュニケーションをはかれるよう協力調整する。
- ④学友（関西）との連絡及び連携の充実にあたる。

### ○活動計画

#### I 募金目標

- ・一人当たり 2万円（普通寄付と特別寄付の合計額）
  - ①普通寄付 一人当たり5千円以上お願いする。
  - ②特別寄付 昨年度より表彰制度が新しくなり、米山功労者表彰が累計10万円毎になったことを受け、クラブ会員の皆様全員に米山功労者になっていただくよう協力要請する。

#### II 2005学年度米山奨学生選考試験

- ①ロータリアンが望む優秀な奨学生の採用をする為に面接に重点を置き、更には、



公平公正な採用基準を確立し定着化させる。

- ②申込期間 2004年10月 1日から10月15日（予定）
- ③書類審査 2004年11月 地区委員に依る資格審査と申込書チェック
- ④書類選考会議 2004年12月
- ⑤面接試験 2005年 1月
- ⑥最終選考会議 2005年 2月

### III

- ①年 2 回開催するカウンセラー研修会を定着させる。
- ②カウンセラーと指導教官との連携
- ③地区委員と大学との情報交換会の開催
- ④米山記念奨学事業の改編年度に歩調を合わせて地区委員は積極的にクラブ訪問をし、「米山の現況と地区活動」についてPRする。

### IV

- ①米山奨学生終了者のネットワークの完成と、有効利用について、各クラブに協力を要請する。

### V

2005学年度米山奨学生（2005年 4 月～2006年 3 月）

継続受給者	11名
新規奨学生	23名
クラブ米山奨学生	3名
計	37名

# 地区大会

委員長 鴻野真太郎 (大阪西)  
幹事 大富國正 (大阪西)  
プログラム委員長 鴻池忠彦 (大阪西)

## ★日程・開催場所及び内容について

### 第1日目

2005年12月9日(金) 於：リーガロイヤルホテル

内容：会長・幹事懇談会

家族の集い

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

### 第2日目

2005年12月10日(土) 於：大阪国際会議場

内容：開会式、基調講演

## ★登録について

昨年と同様、当日の参加者の登録とする。

参加者登録は一人7,000円、地区資金は在籍会員数一人5,000円とする。

(昨年度繰越金800万円受入れ前提)

# ロータリーの友

地区委員 松 中 修 身 (大 阪 西)

## ロータリーの友委員会が主催する合同会議への参加

合同会議（正・副委員長、特別顧問、顧問、常任委員、地区委員で構成）に出席します。この合同会議は7月9日（上記メンバーに今年度ガバナー、新旧R I 理事・エレクトも出席）、11月・3月・5月の第2月曜日に、年4回開催されます。

## ガバナーおよび地区内会員との意思疎通および情報交換をはかります

ガバナーおよび雑誌委員長・委員、各委員会、それに地区内会員から広く意見を求め、合同会議その他で発表します。また、『ロータリーの友』に関する必要なすべての情報をガバナーに文書または口頭で報告します。

## 地区における役割

『ロータリーの友』誌およびその他の出版物や事業への理解を深め、広く機会を求めて地区内の会員への広報並びに利用促進活動につとめます。主な目標は、

- ①地区大会、地区協議会など地区内の各種会合に参加し、関連委員との連絡を密にし、地区の状況を『友』に発表します。
- ②ガバナー月信を活用して『ロータリーの友』に関する情報を提供します（ロータリーの友委員会の報告、ロータリーの友の出版物PRなど）。
- ③地区またはクラブのロータリー情報委員会、広報委員会、雑誌委員会、会報委員会など関連委員会とは、連絡を密に行なうことにより、ニュース源や協力者を確保します。

## 刊行物の編集に参画

「地区のたより」→

地区内ロータリー活動における奉仕の考え方や事例、会員相互の親睦と融和に資するスペースを提供して、他地区の会員に情報を提供するという『ロータリーの友』発行の趣旨に基づき、年1回編集を担当します。2660地区は2006年12月9日号に掲載されます。当地区または数地区合同での奉仕活動の理論や具体的事例について、ガバナーと相談のうえ「地区のたより」に出稿します。



## 財 務 委 員 会

委員長 松尾雅明(大阪西)  
委員 栢田圭兎(大阪北)  
同 湯浅光章(大阪南)  
会計 小寺隆弘(大阪西)

### 予算編成方針

地区予算の緊縮化を図ろうとされたここ数年の財務委員会の努力を踏襲し、さらなる支出の削減を目標にしました。本年度においても地区会員の減少が予想されることから、前年度比162名減の4,100名の会員数を基に収入を想定しましたが、各委員会のご理解とご協力により支出の削減に努めた結果、1人当たりの負担金は前年度よりも500円減の22,000円で予算を編成することができました。

各会計の内容は以下の通りです。

#### ○地区運営資金

ガバナー事務所経費の削減を第一の目標に検討しました。人件費関係については雇用契約の見直しを行い、また今年度よりガバナー事務所家賃の一部を地区活動資金において負担する事としました。さらにその他種々の費用の削減に努めた結果、前年度よりも275万円減の支出で予算を編成することができました。1人当たりの負担金は9,500円となっています。

#### ○地区活動資金

各委員会に対し、前年度予算10%減の支出を要請し、検討していただきました。その結果、職業奉仕委員会以外のすべての委員会について前年度よりも減少しています。職業奉仕委員会については、ガバナーが重点目標として小冊子の作成を依頼しております関係で、唯一前年度よりも増加しました。委員会の会合場所として利用していただくため、ガバナー事務所家賃の一部を活動資金で負担しています。また今年度はI.M.広報活動補助金を活動資金において予算化しました。各グループに対し30万円として総額240万円を計上しています。1人当たりの負担金は7,500円となっています。

○地区大会資金

地区大会の任意登録が定着化したため、地区大会資金を特別会計とし、前年度の繰越金800万円と共に地区大会への支出に充当します。1人当たりの負担金は5,000円となっています。

○地区基金

前年度繰越金について特別の用途は予定しておりませんが、災害の発生時等に地区からの寄付を機動的に実行するため、地区基金より一定の範囲内での出金を可能にする事を検討しています。

○地区広報活動基金

前年度繰越金について特別の用途は予定しておりません。

活動方針

- (1) 年度予算についての周知徹底
- (2) 適切な予算執行と予算管理

以上の2点により地区会計の健全性に努めてまいります。



2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区  
地区資金・特別会計・地区基金会計予算

自 2005年7月1日  
至 2006年6月30日

地区運営資金

【収入の部】 (単位：円)

科 目	金 額
1. 地区資金 9,500円×4,100名	38,950,000
2. R I 助成金	1,800,000
3. 雑収入	2,000,000
収 入 合 計	42,750,000

【支出の部】

科 目	金 額
A. 負担金	
1. ガバナー会 200円×4,100人	820,000
2. ローター文庫 300円×4,100人	1,230,000
3. 平和奨学生支援協力金 15円×4,100人	61,500
小 計	2,111,500
B. 会議費	
1. 地区チーム L T S	70,000
2. 会長エレクト T S	800,000
3. 地区合同委員会	1,000,000
4. 財団セミナー	450,000
5. D G P G G E 会議	1,000,000
6. G 補佐・地区幹事会	100,000
7. G E 国際協議会	730,000
8. 予備費	200,000
小 計	4,350,000
C. ガバナー事務所費 (エレクト事務所費)	29,530,000
D. ガバナー月信費	6,000,000
E. ガバナー補佐経費	500,000
F. 直前 D G 記念品	100,000
G. 総予備費	158,500
支 出 合 計	42,750,000
年度収支差額	0
前期繰越金	3,666,459
次期繰越金	3,666,459

ガバナー事務所経費

(単位：円)

科 目	金 額
1. 家賃・光熱費 (注)	2,700,000
2. 給料・手当	18,000,000
3. 福利費	2,000,000
4. コンピューター関係費用	310,000
5. D G G E 交通会費	600,000
6. 印刷費	1,500,000
7. 交通通信費	1,500,000
8. 文献費	100,000
9. 事務用品費	900,000
10. 什器備品費	200,000
11. 雑費	1,600,000
12. 予備費	120,000
合 計	29,530,000

(注) 一部を活動資金において会議室使用負担金として計上

地区活動資金

【収入の部】 (単位：円)

科 目	金 額
1. 地区資金 7,500円×4,100名	30,750,000
収 入 合 計	30,750,000

【支出の部】

科 目	金 額
A. 地区委員会活動費	
1. D G 指名 (委)	100,000
2. 意義ある業績賞 (委)	30,000
3. クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕 (委)	200,000
拡大・増強 (委)	200,000
情報・広報 (委)	250,000
4. 職業奉仕部門	
職業奉仕 (委)	360,000
5. 社会奉仕部門	
社会奉仕 (委)	700,000
6. 青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議	20,000
青少年活動 (委)	2,730,000
ローターアクト (委)	4,630,000
インターアクト (委)	2,180,000
7. 国際奉仕部門	
国際奉仕 (委)	50,000
世界社会奉仕 (委)	463,000
青少年交換 (委)	10,020,000
8. ローター財団部門	
ローター財団 (委)	100,000
財団情報・増進 (委)	50,000
財団奨学金・学友 (委)	1,337,000
研究グループ交換 (委)	1,000,000
財団人道的補助金 (委)	100,000
9. 米山奨学部門	
米山奨学 (委)	430,000
10. 会議室使用負担金 (注)	1,800,000
11. 予備費	600,000
小 計	27,350,000
B. R I 会長 D G 強調事業費	1,000,000
C. I .M. 広報活動補助金	2,400,000
支 出 合 計	30,750,000
年度収支差額	0
前期繰越金	11,841,823
次期繰越金	11,841,823

(注) ガバナー事務所家賃の一部を計上

特別会計

1. 地区大会資金 (単位：円)

科 目	金 額
前期繰越金	8,000,000
地区資金 5,000円×4,100名	20,500,000
地区大会会計へ	28,500,000
次期繰越金	0

2. 米山奨学生活動費  
委員会：米山奨学委員会  
委員長：山本和雄  
(単位：円)

科 目	金 額
(財)米山記念奨学会より	1,580,000
米山活動費	1,580,000
次期繰越金	0

3. 世界社会奉仕基金  
委員会：世界社会奉仕委員会  
委員長：植村宏一郎  
(単位：円)

科 目	金 額
前期繰越金	947,416
次期繰越金	947,416

地区基金

(単位：円)

科 目	金 額
前期繰越金	18,000,044
次期繰越金	18,000,044

地区広報基金

(単位：円)

科 目	金 額
前期繰越金	2,800,000
次期繰越金	2,800,000

作成日 2005年4月6日

承認日 2005年4月23日

ガバナー 神崎 茂  
地区財務委員長 松尾 雅明  
地区会計 小寺 隆弘

	2004年7月期初	2004年12月末
クラブ数	86クラブ	86クラブ
会員数	4,261名	4,277名



# 2005年～2006年度 国際ロータリー-第2660地区 組織図

Carl-wilhelm Stehnmarr  
 長 義一 南園  
 理事 重田 政信  
 国際ロータリー



◎：議長 S：特別顧問 ○：委員長 ○：副委員長 ※地区幹事兼任









